



発行日 / 2022年1月5日

編集・発行 / 海外交流事業協同組合

TEL : 011-792-1911

FAX : 011-792-1913

<http://kaijikyoo.com/index.html>



## オミクロンショックから出入国再開へ 準備はできていますか？

昨年11月8日から外国人の入国制限が緩和されたのもつかの間、オミクロン株の発生により日本は11月30日から外国人の入国禁止措置に踏み切りました。入国を心待ちにしていた外国人の方々、受入準備をしてくださっていた組合員の皆様、そして当組合にとっても衝撃的なことでした。さらにこの制限は延長されることになり、入国再開時期は不透明なままです。しかしながら、いずれ出入国は通常に戻ります。その日のためにすべきことは何かを第一に考え、当組合は今年も邁進して参ります。

## 外国人の出入国再開後、何が起きる？先を見据えて備えを。

○入国可＝出国可、帰国が加速する？

⇒ベトナム政府は2022年1月1日から日本を含む9カ国・地域の11都市を対象に国際航空定期便を再開させることを決めています。

○新人比率の増加？

⇒この2年間、技能実習生・特定技能外国人の帰国はありましたが入国はほとんどありませんでした。入国再開後、新人比率が上がる可能性が高く、その指導に割く時間が増えるかもしれません。作業・日本語・生活の指導体制はできていますか？指導が行き渡らないことで起こるトラブルを未然に防ぐべく、十分な備えをお願いいたします。

# アンケート調査から見えてくる？ 技能実習生の実態（1）

## 今月のキーワード「仕送り」

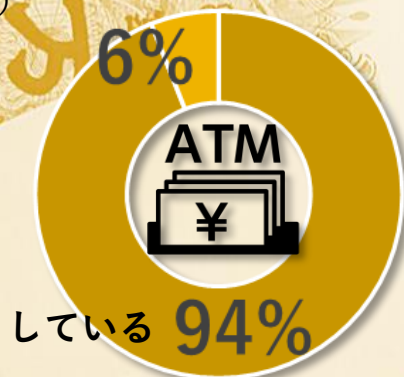
2021年2月に出入国在留管理庁から「在留外国人に対する基礎調査報告書」が公開されました。「技能実習生」はどんな回答をし、この調査から何がわかるのでしょうか？

（この調査対象に「特定技能外国人」は含まれていません。）

Q1

1年間に母国の家族などへの仕送り（送金）をしていますか？

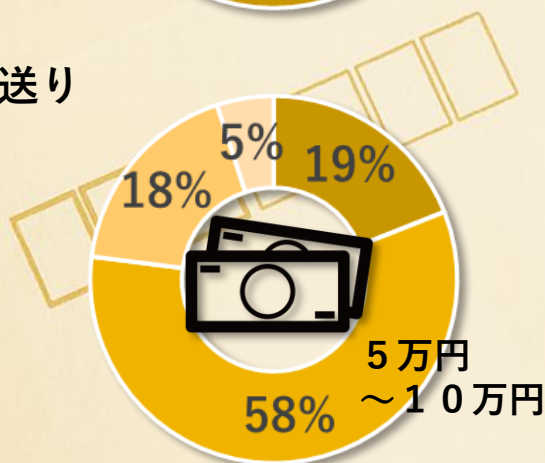
している 94%  
していない 6%



Q2

母国の家族などへの1か月の仕送り（送金）額はいくらですか？

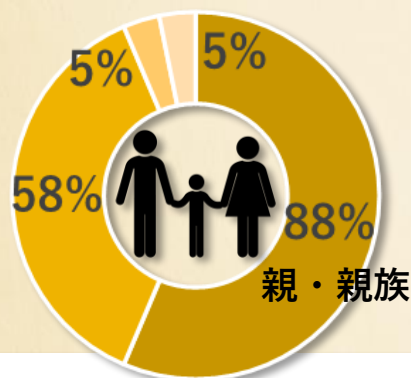
- ① 0～5万円 19%
- ② 5万円～10万円 58%
- ③ 10万円～15万円 18%
- ④ 15万円以上 5%



Q3

母国の誰に仕送り（送金）していますか？（複数回答）

- ① 親・親族 88%
- ② 自分の夫・妻・子 11%
- ③ お金を借りたところ 5%
- ④ その他 4%



「技能実習生のほとんどが家族のために給料の半分以上を仕送りしている。」  
ということがわかります。

お金だけではなく家族に対する想いも届いていることでしょう。



# 「特定技能」の基礎知識（1）

「技能実習」は研修の在留資格、  
「特定技能」は働くための在留資格

2019年に創設された在留資格「特定技能」は、日本で、外国人の方に活躍してもらおうと作られました。「特定技能」には、「1号」と「2号」の在留資格があり、2号の在留資格は1号の在留資格よりも専門的な技能が必要です。本来は日本語試験と技能試験の合格が必要な在留資格ですが、技能実習2号を良好に修了した人は同じ分野で特定技能に移行することができます。

## 特定技能1号で働ける分野

介護、ビルクリーニング、素形材産業、産業機械製造業、電気・電子情報関連産業、建設、造船・船用工業、自動車整備、航空、宿泊、農業、漁業、飲食料品製造業、外食業

## 特定技能2号で働ける分野

建設、造船・船用工業  
(1号の仕事内容に加え、リーダー的役割を担います。)

## 特定技能・技能実習 比較表

	特定技能1号	特定技能2号	技能実習
業務内容	14業種	建設 造船・船用工業	80職種 144作業
滞在期間	5年	期限なし	最大5年
受け入れ可能 国家	制限なし		16か国
家族の帯同	×	○	×
給与	日本人と同等程度		最低賃金以上
転職の可否	○（申請が必要）		×

※「どうやったら働けるか」  
「専門的な技能」については次回お届けします。

※「特定技能」について  
もっと知りたい方はこちら⇒  
特定技能総合支援サイト（外国語対応）  
<https://www.ssw.go.jp/jp/>



新年明けましておめでとうございます

# 法律事務所だより

2022年1月

あお葉法律事務所  
弁護士 伊藤 絢子

二〇二二年は寅年。虎といえば勇猛果敢なイメージですが、その一方で、虎がわが子を大事に育てる様子が、大切にして手放さないものや秘蔵の金品のことを指す「虎の子」の語源にもなったそうです。

新型コロナウイルスの動向は今なお予断を許さず、新たな技能実習生の入国時期も見通しにくい状況が続きます。

新型コロナウイルスの影響により、人々の接触の機会は減り、各種の会議や会合等にオンラインが利用される機会が増えました。オンラインの利便性を感じつつも、やはり、直接会って話したり、時間と場を共有したりすることの意義を実感しています。

今年こそ、いつもの日常が戻り、多くの技能実習生の笑顔が見られることを願うばかりです。

皆様のご健康とご多幸、ご商売繁盛を祈念いたします。本年も宜しくお願い申し上げます。